未来を担う子どもたちが夢を抱き、前に進む力を育むためのサポート

児童夢基金だより
じどう ゆめ ききん
Children's Dream Fund

第6号 あたらしい道号
2020.8.5 発行
NPO法人 児童夢基金
東京都世田谷区上野毛2-13-1
http://yumefund.org

私たちだからこそできること

児童夢基金　理事長　高岡 哲郎

全国での豪雨被災、新型コロナウィルス罹患に心よりお見舞い申し上げます。このような中でも皆様と共に当基金も前向きに支援活動を前進させてまいります。避難所に文具教材を届ける事業を始め、津波で流された卒業アルバム復刻事業、被災地域へのスポーツ支援、全国から楽器を届ける事業、全国学校校庭に遊具復活事業、児童感動体験事業、障がい児スポーツ支援、子どもたちの夢が芽生え膨らむ事業を継続してまいりました。いよいよ10年目を迎える今期、一般社団法人を改め特定非営利活動法人(NPO)として活動開始することになりました。

「小回りの利く活動」

一昨年、遊具を全国校庭に復活する事業を進める際に当時の林文部科学大臣に「お国で遊具設置予算を作っていただきたい」とお話しさせていただいたときのことです。大臣より「是非それは、小回りの利く児童夢基金さんが社会事業としてリードしてくれませんか」と逆にお願いされてしまいました。少し面喰いましたが落ち着いて考えてみると、とても腑に落ちる提案だったのです。大きな行政では手が回らない社会課題は、小回りの利く草の根活動で継続できる団体ならばこそ一つ一つの課題に丁寧に対応でき、それは広がり大きな課題に集中する行政とのバランスが今後の超成熟日本型社会事業の在り方なのではと。

「確実な前進を」

そのコンセプトに適応したシステムが「NPO法人」であり、より確実にこの事業を前進させることができると基金設立メンバーと協議し合意に至りました。

今まで活動にご賛同くださった皆様と新たにご賛同くださる皆様と子どもたちを取り巻く諸々の課題を探し解決に導ける糸口を提供する。そして穏やかに皆様と歩むことができれば幸いです。新常態を模索する今にふさわしい活動にもチャレンジ中です。この誌面でもご報告させていただきます。

法人格をNPOへ

YouTube「夢ボーイちゃんねる」スタート

2020年5月に「自粛期間中になにかできることはないか」という想いでYouTubeにチャンネルを開設しました。子どもから大人までが安心して楽しく見れて、好奇心が少し刺激される…そんなバラエティあふれるコンテンツを配信しています。当チャンネルの収益は、子どもたちが夢を描ける環境づくり応援する児童夢基金の活動に全額役立てられます。

ご視聴、チャンネル登録をお願いします

CocaCola 寄付型自動販売機 設置開始

寄付型自販機とは、飲料を買うと寄付をすることができる自動販売機です。設置や置き換え、寄付金の振込みなどは、コカ・コーラボトラーズジャパンが行い、ご負担は月々の電気代のみです。寄付型自販機を設置いただける方、設置場所をご紹介いただける方、新たな社会貢献へのご協力をお願いいたします。個人でも設置可能です。

寄付型自販機の設置場所を募集中です

遊具支援プロジェクト

遊具支援先が決定！

2019年11月26日(火)27日(水)、次期遊具支援先を決める現地視察を実施しました。候補校は、震災・豪雨被害が大きかった熊本県、佐賀県の教育委員会に事前に電話をし私たちの活動趣旨に合った5校を選ばせて頂きました。

【26日 熊本県】

予算が回ってこない一方で、老朽化した校舎の修繕費や、生徒数増大に関わる設備投資が優先され、ここでも遊具の設置や修繕は後回しになっています。

各校の詳しい視察報告はホームページにありますので、そちらをご覧ください。

この現地視察をふまえ、実行委員会にて支援先を検討、審議し佐賀県立金立小学校に決定しました。子どもたちが身体ごと滑ることができる特殊滑り台が8月に完成予定です。その次の遊具支援先としては、熊本県中島小学校を予定しています。

【27日 佐賀県】

佐賀県佐賀市の金立特別支援学校、大和特別支援学校の2校を訪問しました。両校とも特別支援学校としての歴史が長いのですが、事前調査では「特別支援学校は予算が後回しになってしまう。」とのことでした。

予算が回ってこない現状です。各校に現状・課題を聞き、設置されている遊具の現状を確認しました。

【26日 熊本県】

先の熊本地震で震源地に一番近かった熊本県上益城郡の中島小学校、益城中央小学校、乙女小学校を訪問しました。町の復興は進んでも「遊具」にまで予算を割けない現状です。各校に現状・課題を聞き、設置されている遊具の現状を確認しました。

【27日 佐賀県】

佐賀県佐賀市の金立特別支援学校、大和特別支援学校の2校を訪問しました。両校とも特別支援学校としての歴史が長いのですが、事前調査では「特別支援学校は予算が後回しになってしまう。」とのことでした。

子どもたちへ感動体験を！新宿区と児童夢基金の共催イベントに　アーティストサポーターたちが大集結！ P4をご覧ください

世界中の
子どもたちに
夢のかけはし

スリランカの新学期 支援報告

児童夢基金では、スランガニ基金からの支援要請を受けて、２０１８年には新学期用にリュックサックを100人の子どもたちへ送りました。

今回、２０１９年12月には、新学期用の靴を105足、みなさまからの募金で寄贈することができました。

スランガニ基金

1992年に設立。スリランカの経済的支援が必要な子どもたちのために学びの環境を整える活動をしている小さなNGOです。

ピカピカの靴を履いて　学校に行けるね！

スリランカでは1月が新学期です。12月に入ると子どものいる家庭には学校から「ブックリスト」が渡されます。それには ノート、鉛筆、お弁当箱、水筒、靴、カバン…など準備するものが記載されています。

子どもたちはみんな、間近に迫る新学期を楽しみにワクワクして過ごします。

しかし、貧困により新学期の道具を用意できない保護者たちは、準備できない物のことばかりを考えて不安で悲しい12月となっていたそうです。

この様な状況を踏まえて、２０１９年12月には、通学用の靴を支援することで、子どもたちは自分の足型を鉛筆でなぞり紙に書いたものを現地の事務所に届け、それを靴の会社に送りサイズを見繕ってもらいました。靴箱の裏には靴会社の社員からの励ましのメッセージが書いてあったそうです。

まだまだコロナ禍で海外へ行くことは難しいですが、皆さんの優しい想いが世界の誰かを幸せにしてくださいました。

心より感謝いたします。

今後とも皆様の温かいご支援をお願いいたします。

〈担当：山段晶子〉

支援金額
100,000円

になりました。サイズがわからないということ

児童夢基金と縁のある人のコラム

ひとコラム 4

今回の「ひとコラム」は、2019年10月『校庭に遊具を復活させるプロジェクト』でジャングルジムと雲梯を寄贈した宮城県石巻市飯野川小学校からです。子どもたちにとって、遊具は遊んだり体力をつける道具だけではない大切な役割があることを感じさせてくれます。

子どもたちの心の支えの一つは…遊具

本校は４月８日に令和２年度の始業式・入学式を挙行し新学期をスタートさせましたが，新型コロナウイルス感染症予防のため、４月15日から臨時休業となりました。

令和元年度の３月から、６月１日に学校が再開するまでの約３か月間は、これまでに経験したことのない長期の休みとなり、担任が家庭に定期的に課題を届ける日々でした。その間、新型コロナウイルスに感染することを恐れ、屋外で遊ぶ子どもたちを見かけることはほとんどありませんでした。子どもたちにとって、友達と会って遊ぶこともできずに過ごした長い日々は、さぞ辛いものだったことでしょう。

６月１日の学校再開に向けて、５月末に３日間の自主登校日を設けました。ほぼ全員の子どもたちが登校し、子どもたちの様子から、どれほど学校再開を待ち望んでいるかが伝わってきました。この３日間の自主登校日で、学校再開後の「飯野川小学校のあたらしい学校の生活」を確認しました。例えば、子どもたちの心と体をリラックスさせるために、友だちとの距離を保ちながら自由に校庭で遊べる時間の設定を試みました。すると、広い校庭で鬼ごっこなどを楽しむ子どもたちもいましたが、遊具も大人気でした。順番を待つときは、ちゃんと間隔をとって並ぶ姿も見られました。

６月１日に学校が再開してからも、業間休みにはほとんどの子どもたちが校庭に出て元気に遊びます。相変わらず遊具は大人気で、高学年の姿も多く見られます。しかし、学校が再開した頃の体育の授業では、ジャンプして着地する際にバランスを崩して捻挫したり、友達との距離を測れずにぶつかって打撲したりというけがが増えたものでした。これは臨時休業中の運動不足による影響の一つと考えられます。

子どもたちは、休み時間に遊具にのぼったり、ボール運動をしたり、一輪車に乗って遊んだりしながら体を動かすことで、自然に持久力や筋力の維持・向上が図られていたことに改めて気付かされました。

今後は学校を閉じるようなことがなく、このような当たり前の日常がずっと続くことを願っています。

５月28日（木）自主登校日の自由時間

支援報告
みなさまからの募金、協賛金で叶った支援を報告をいたします

2019年12月 ネパール・パンチャイサカ学校教育支援

2019年12月15日（日）の『クリスマスコンサート2019』の収益より50，000円を共催のLAFFOを通じて、ネパールのサララヒ村にあるパンチャイサカ学校の送迎用バスの補助金としました。

2020年2月15日～16日 第五回 全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権

静岡県藤枝総合運動公園サッカー場にて開催された、第五回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権「もうひとつの高校選手権2019」を支援いたしました。当基金は今年で4年目になる支援活動です。北海道から沖縄まで全12校が出場。

16日の決勝戦は大雨の中、豊田高等特別支援学校が4年ぶりに優勝旗を手にし、素晴らしい笑顔の選手たちでした。観客席から熱い声援を送っていたご家族は「サッカーを始めた頃はわが子がユニフォームを着てこのようなグランドでプレーできるとは夢にも思っていなかったのです。」とおっしゃっていました。

藤枝市内の高校生が会場設営、整備、アナウンスなどを担当していたのですが、初めて受付業務に関わった男子（高一）は「初めて関わる大きな仕事でわからない事も多く苦労もありましたが凄く良い経験ができました。来年もやりたい！」と語っていました。一つのスポーツを通して無限に広がるバリアフリーの夢を感じました。

〈参加者：青柳・岡本〉

支援金額 100，000円

2020年5月、6月 児童施設にマスクを寄贈

株式会社レカルカ様より児童夢基金に寄付されたマスク2000枚を児童施設に寄贈いたしました。

5月23日、児童養護施設『二葉学園（調布市）』

5月27日、『しせい太陽の子保育園（東京都日野市）』

6月5日、児童養護施設『至誠学園（東京都立川市）』に手渡しでお届けしました。

どの施設からも「思うようにマスクが調達できない中、本当に助かります。」とお言葉をいただきました。施設ごとに子どもをとりまく環境の変化や、職員さんたちの苦労についてお伺いし、これからの活動について考えるヒントにもなった活動でした。

〈参加者：青山・藤井・亀石〉

イベント報告
各イベントにご来場いただいたみなさま、ご協賛いただきました企業、個人のみなさま、企画の趣旨に賛同し出演してくださったパフォーマーのみなさま、ありがとうございました

2019年11月9日（土）10日（日） 玉川大学 コスモス祭

広大なキャンパス全域で実施されるイベントに参加しました。児童夢基金と玉川大学・玉川学園学友会川崎支部の射的、スーパーボールすくい、はらぺこモンスターゲーム（左写真）では、子どもも大人も、楽しく遊んでいました。スクイーズやキーホルダーを手作りできるワークショップも大人気で、作りあげたものをうれしそうに持って帰る姿が印象的でした。

募金　121，434円

2019年12月15日（日） クリスマス コンサート

銀座ラウンジZEROでのクリスマスコンサートは、おかげさまで満席のお客様を迎えての開演です。魅惑のアコーディオンの音色、歌声やハンドベル…会場をやさしく包み込むような素晴らしいパフォーマンスは大盛況で幕を閉じました。

ご来場頂きましたお客様、ご出演頂きました玉川学園ハンドベルクワイア、セントメリーズH.S、Titunes、Alex&Marc、特別ゲストのCatsuさん、桑山哲也さん、藤田朋子さん、ご協賛頂きました企業様、ボランティアスタッフ各位に心から感謝を申し上げます。終演後、出演者がお客様を見送りながら募金箱への寄付をよびかけてくださり目標の20万円を越えることが出来ました。

募金箱　224，841円　　寄付金　50，000円

◆イベント協賛◆（順不同）

○㈱京葉エヌテーエヌ
○㈱久世
○㈲長浦製作所
○㈱人形町今半
○㈱プラネットワーク
○サンレール工業㈱
○㈱ブラザーズ
○㈱茨城ハッピー食品
○サッポロビール㈱
○㈱ディアーズ・ブレイン
○㈱幸楽苑ホールディングス

その他活動報告
上記以外の主な活動

◆2019年◆

11月6日　実行委員会
11月9日　ラフーチャリティーコンサート協賛
12月25日　実行委員会

◆2020年◆

1月23日　イベント会議
2月5日　実行委員会
2月27日　新宿区区長と面談
5月9日　理事会（リモート）
5月16日　理事会（リモート）
6月14日　実行委員会（リモート）
7月25日　実行委員会（リモート）

以上

新宿区と児童夢基金の共催イベントに　アーティストサポーターたちが大集結！！！

子どもたちの感動体験イベント情報

こんな時だからこそ一流アーティストの本気パフォーマンスを子どもにも大人にも届けたい！

そんな想いを込めて、出演者、スタッフ一同、万全を期して準備に臨んでおります。『BRIDGE OF THE RAINBOW 2020』は“子どもたちの感動体験との出会い”がテーマの活動です。
ぜひご来場いただきこの活動を応援してください。

大人が心底楽しめるパフォーマンスは子どもを巻き込み…“新たな夢”を生み出します

児童夢基金 主催　　東京都新宿区 共催

■ BRIDGE OF THE RAINBOW 2020 ■

9月19日(土)　18:00開場　18:30開演(20:00終演)
川平慈英・HIDEBOH・平澤智・ジョンカビラ・早見優・
篠宮佑一(Five Senses Ballet)・村井良大・麻生かほ里・大和田美帆

9月20日(日)　13:30開場　14:00開演(15:30終演)
川平慈英・HIDEBOH・平澤智・ジョンカビラ・早見優・
篠宮佑一(Five Senses Ballet)・島田歌穂・秋山エリサ

【THE RAINBOW BAND】崎久保よしひろ(Pf)　えがわとぶを(Ba)
吉田さとる(Sy)　相原秀章(Gt)　河崎真澄(Dr)

会場　新宿区 四谷区民ホール(丸の内線「新宿御苑前」2番出口より徒歩5分)
料金　両日¥6,500(税込) 全席指定
〈9/20ライブ配信　視聴チケット料金 ¥2,500(税込み)〉

お子様連れでご参加の方に**レインボーシート**（先着予約制）をご用意しています
チケットの購入、レインボーシートの条件等は児童夢基金のホームページをご覧ください→ https://yumefund.org/

尚、児童夢基金が特別協力で2020年５月９日(土)に予定されていました『Five Senses 1st Performance』公演は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る政府発表の方針をうけ、2021年３月20日(土) に延期とさせていただく事となりました。詳細はホームページにてご確認下さい。

これからの寄付先
- 佐賀県立金立特別支援学校へ特殊滑り台
- 熊本県山都町立中島小学校へ遊具
- デュアルスキー※の支援

上記の支援が決まりました

※デュアルスキー
障がいをもった子どもたちもスキーに近い感覚を体験できます。リフトにも乗ることができる特殊なスキー板付きの椅子に着座して介助者とともに滑走します。

会員募集

活動にご賛同いただける方へ

子どもたちが未来へ

希望をもち、生き生きと夢を描くためには、周囲の大人たちの良質なエネルギーが不可欠です。児童夢基金では、みなさまとのかかわりや共に創り上げてゆく喜びを大切にしたいと考えています。個人の方はもちろん、企業、団体のみなさまも、ご賛同およびお手伝いしていただける方をおまちしております。

会員は【正会員〈年会費12,000円〉】と【賛助会員〈個人 年会費 1口5,000円（1口以上）/団体 年会費 1口10,000円（1口以上）〉】をご用意しています。入会していただくと児童夢基金の広報誌の送付をはじめ、児童夢基金が企画するイベント等の先行・優先予約などの特典もあります。ご入会は児童夢基金のホームページより受け付けております。

児童夢基金では、支援金だけではなく、さまざまなサポート方法を広く受け付けております。
詳しくはホームページをご覧ください。

支援金振込先
【金融機関】みずほ銀行小舟町支店　【店番号】105
【口座の種類】普通口座　【口座番号】1316165
【口座名】トクヒ)ジドウユメキキン

【編集後記】あたらしく「自分には何ができるだろう」と違う方法をみつけるのは難しいと実感した期間でしたがやるしかない 大久保

2019年9月1日～2020年6月30日に寄付をいただいたみなさま(敬称略、順不同)
チャリティーゴルフ、ミコシバ、3736カイミウラ、ゴトウトヨコ、オクムラヨシミ、タケダメグミ、カ)レカルカ、ロクリュウジミヤジマミチタカ、フジイヒロコ、アライダノボル、ツキヂタムラタカシ、カトルスセイジン、カ)プロデュース、フジシヨサコイダイヒョウシャカイ、タカハシムツミ 以上

ありがとうございました

日頃より
児童夢基金へのご協力に
心より感謝いたします

子どもたちを応援したい　支援が必要な子どもたち

https://yumefund.org/

これまでと今からの活動内容、総会・実行委員会の議事録、募金状況、サポート方法など、詳細、お問い合わせは、児童夢基金ホームページをご覧ください。